

## 明日の予定も過去の経路も マップの画面で楽々チェック

### ●ドアツードアで最適ルートを検索

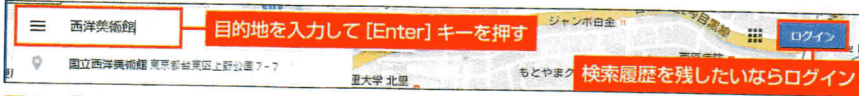


図1 「Google マップ」の画面にある検索欄に目的地の名称や住所などを入力して [Enter] キーを押すと、その場所の地図が表示される



図2 目的地の施設情報で「ルート・乗換」をクリック(左)。施設情報がない場合は、ピンを右クリックして、「ここへのルート」を選択(下)

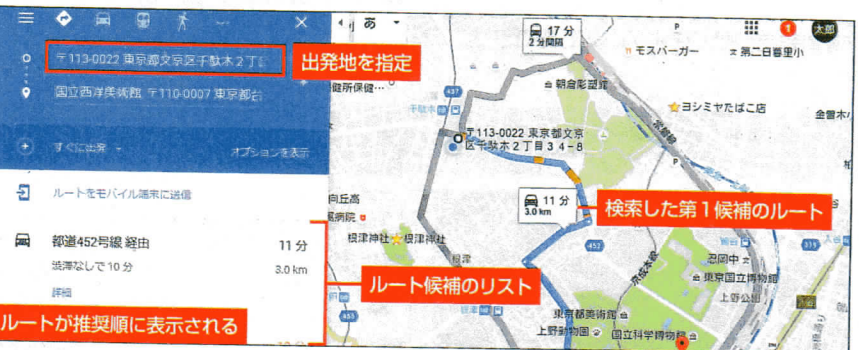


図3 目的地は入力済みなので、出発地の住所を入力して [Enter] キーを押すなどすれば、出発地と目的地を結ぶルートがリストと地図に表示される



図4 「車」「電車・バス」「徒歩」「飛行機」などから交通手段を選べる。各ルートをクリックすると詳細を確認できる



図5 図4で「すぐに出発」をクリックすると、出発・到着時刻や終電など、時間指定のルート検索が可能だ

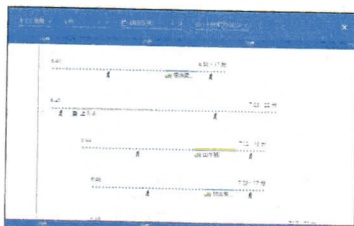


図6 ルート候補リストの下にある「ルート比較ツール」の文字部分をクリックすると、歩く時間などを比較しながらルートを選べる

地図アプリや乗り換え検索アプリはいろいろあるが、電車での経路をドアツードアで探すなら、最適なのは「Google マップ」だ。iPhoneの「マップ」アプリは、電車などの交通機関に対応していない(iOS 10で対応予定)。乗り換え検索アプリは出発地や到着地が駅やバス停なので、そこまでの道順が分かりづらい。Google マップなら、出発地や到着地からの徒歩部分を含めた乗り換えを検索でき、ルートの比較も簡単だ。

WebブラウザでGoogle マップを起動したら、まず目的地を検索する(図1)。住所、施設名、店名、電話番号、郵便番号などで検索可能だ。目的地周辺の地図が表示され、目的地が施設であれば、その所在地や営業時間なども確認できる(図2)。「ルート・乗換」をクリックして出発地点を指定し、ルート検索を始めよう(図3)。交通機関や時間帯などを指定して、最適なルートを選べる(図4~図6)。



3Dマップ▼

一般には上空から斜め下方向に見下ろしたような、地図の立体的な表示を指す。角度や方向の調節も可能。航空写真などから自動合成されている。

用語解説

スゴ技 世界遺産の中まで360度で見渡せる

道を歩いているような感覚で周囲の写真を見られる「ストリートビュー」(図7、図8)。施設内の「インドアビュー」や、360度方向の景色を見渡せる「フォトスフィア」と併せて、目的地周辺の確認にもってこいだ(図9、図10)。ハワイの海からホワイトハウスの中まで、さまざまな場所を探検するのも楽しい。



図7 画面右下のペグマン(人形のアイコン)をクリックすると、地図上に青い線や円が表示される。線上をクリックすれば「ストリートビュー」、施設内に表示される薄い線をクリックすれば「インドアビュー」が見られる。マウスポインターを合わせてサムネイルを確認してからクリックしよう



図8 「ストリートビュー」では周囲を見回したり、道に沿って進んだりできる



図9 施設内を表示する「インドアビュー」。操作はストリートビューと同様



図10 指定した地点からの360度画像を確認できる「フォトスフィア」

便利技 渋滞情報も路線図も建物も一目瞭然

外出予定を立てるなら、事前に道路の混雑状況を確認しよう。ルート検索後、曜日・時間帯を指定して混雑状況を調べよう(図11、図12)。

電車の乗り換えなどで位置関係を把握したいなら路線図を確認(図13)。ビル街なら、3Dマップでビルの外観も確かめておこう(図14)。

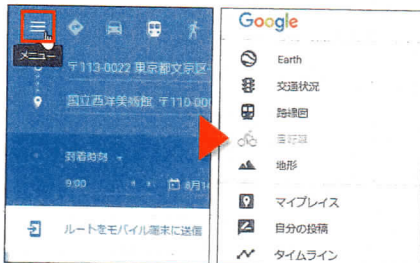


図11 目的地やルートを検索後、「メニュー」をクリック。「交通状況」「路線図」「地形」などの表示が選べる



図12 交通状況では現在の渋滞状況が表示される。「ライブ交通情報」をクリックすると、曜日や時間を指定できる



図13 電車の路線図を表示。駅を選択してから表示させると、その駅を経由する路線を確認できる



図14 地図画面の左下にある「Earth」をクリックすると、上空からの航空写真に切り替わる(左)。「Ctrl」キーを押しながらドラッグすると角度が変わり、立体的な3Dマップで建物の高さや形を確認できる(右)



## スゴ技 自分が移動してきた履歴は「タイムライン」で確認

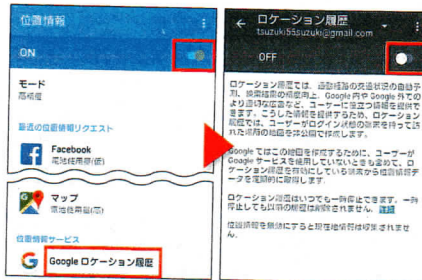


図15 Androidでは「設定」→「Google」→「位置情報」と選択(左)。「Googleロケーション履歴」をオンにする(右)

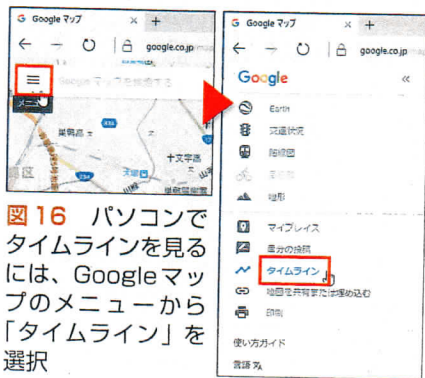


図16 パソコンでタイムラインを見るには、Googleマップのメニューから「タイムライン」を選択

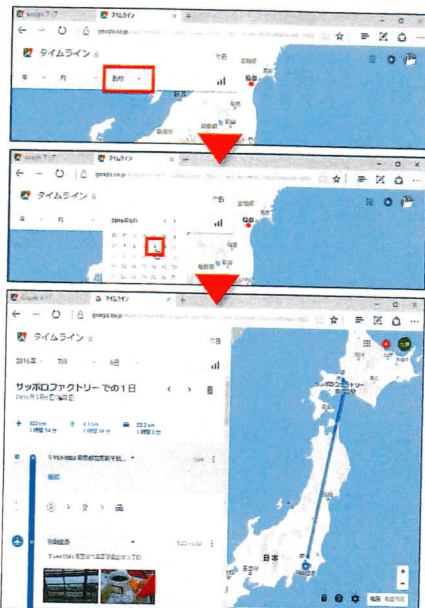


図17 今日のタイムラインが表示されるので、画面左上の「年」「月」「日付」から見たい日付を選択する(上、中)。選択した日の経路やその日に撮影した写真などが表示される(下)

旅行で散策した経路や立ち寄った店の名前などを記録したいなら、スマホのGoogleマップで「ロケーション履歴」をオンにしよう。位置情報を数分ごとに記録して、後から「タイムライン」として確認できる。

Androidの場合は、「設定」アプリの「Google」からロケーション履歴をオンにする(図15)。iPhoneの場合は、「Google Maps」アプリのメニューで「設定」→「ロケーション履歴」でロケーション履歴の設定をオンにする。

タイムラインは、パソコンのWebブラウザで表示すると分かりやすい(図16、図17)。位置情報の記録なので、トラブルに巻き込まれたときの不在証明としても使える。

## 便利技 自宅と職場、よく行く先はマップに登録



図18 検索欄で「職場」または「自宅」と入力して「場所を設定」をクリックする(左)。表示された欄に住所を入力して「保存」をクリック(右)



図19 「保存」をクリックすると(上)、場所が登録され、地図上に星形が表示される(右)。「ラベルを追加」で分かりやすい表示名を追加することも可能

ルート検索の手間を省きたいなら、頻繁に検索する場所をあらかじめ地図上に登録しておこう。

まずは自宅と職場を登録しよう(図18)。「職場」にはオフィスの場所、あるいは頻繁に通う学校や施設などを登録する。ルート検索時、出発地や目的地で「自宅」「職場」と入力すれば、登録した住所を入力できる。

Googleマップで検索した場所に何回も訪れそうな場合は、「保存」しておこう(図19)。保存した場所は、地図上にも黄色の星形が表示されるので、見つけやすくなる。Googleマップのメニューにある「マイプレイス」を開いて、保存した場所などを一覧表示することもできる。



マイブレイス▼

Googleマップでは、ログインして利用するユーザー向けの、マップ上で保存した場所の一覧などを表示する画面を指す。ほかに「マイマップ」もある。

用語解説

スゴ技 好みの条件でルート検索

ルート検索で「電車・バス」を選択すると、電車優先でのルートが表示される。「バスで行きたい」「乗り換えで歩きたくない」といった条件があるなら、「オプションを表示」をクリック(図20)。「ルートのオプション」で「バス」「路面電車/市街電車」「乗換が少ない」「徒歩が少ない」といった条件を指定して、自分にとって最適なルートを探そう(図21)。

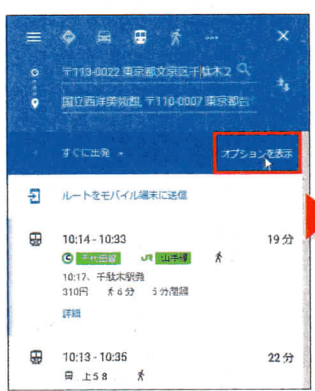


図20 ルート検索後、「オプションを表示」をクリック

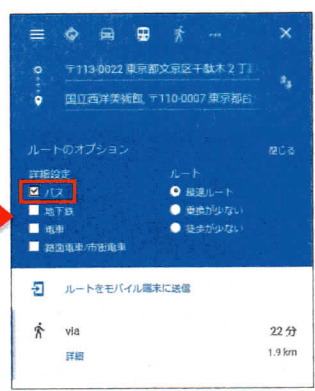


図21 バスで行くなら「バス」を優先条件に指定

便利技 検索ルートをスマホに送信

ルート検索は大きな画面のパソコンが便利だが、いざ出かけるとなれば持ち歩くのはスマホだろう。同じGoogleアカウントでログインしていれば、パソコンとスマホで連携できる。特に簡単なのは、ルート検索の画面で「ルートをモバイル端末に送信」を選択すること(図22)。指定したスマホにメッセージが送信され、スマホ側で開けばすぐにルートを表示できる(図23)。

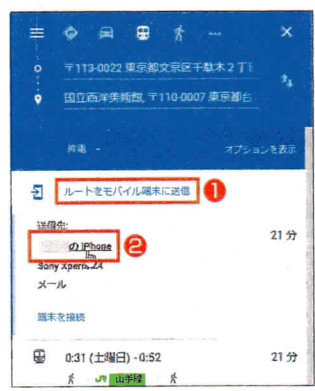


図22 ルート検索後、モバイル端末への送信をクリック



図23 スマホに届いた通知をクリックしてルートを表示

スゴ技 施設の混雑時間も予測

Googleマップで店舗やテーマパークなどを検索すると、住所などの情報が表示される(図24)。施設によっては定休日や営業時間や混雑状況まで表示されるので便利だ。すぐ行きたいなら「営業中」か「営業時間外」かをチェックしよう。曜日ごとに「混雑する時間帯」を表示できるので、先々の外出予定を立てるのにも便利だ。

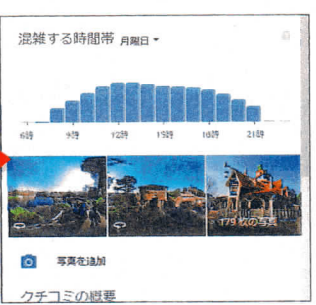


図24 娯楽施設や店舗を検索すると、施設情報の画面にさまざまな項目が表示される。営業時間や定休日、混雑する時間帯まで調べられる

便利技 ルートをカレンダーに追加

外出予定を立てるために検索したルートは、出発時間を含めてカレンダーアプリに登録しておきたい。iPhoneを使っているなら、ルート検索の詳細画面で一番下までスクロールしてみよう(図25)。「カレンダーに追加」を選択すれば、iPhoneの「カレンダー」アプリや「Googleカレンダー」アプリに登録できる(図26)。

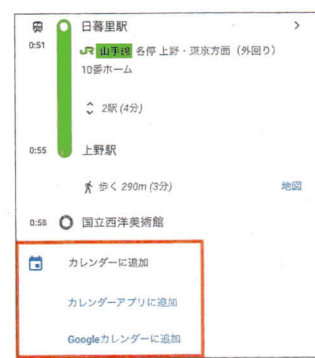


図25 iPhoneなら詳細なルートの最後に表示される「カレンダーに追加」を選択

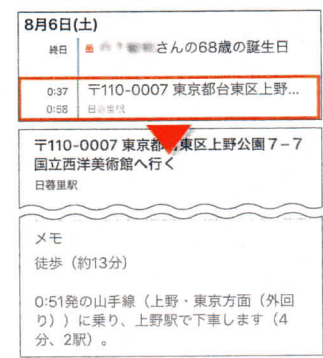


図26 カレンダーに追加された予定をクリックすると、詳細が確認できる